

# 研究課題名：CTP 検査結果に影響する因子の検討

## 1. 研究の目的

CTP 検査はすでに本邦の外リンパ瘻診断基準にも採用されており、日常臨床における外リンパ瘻診断に必要な検査です。また保険収載され、今後全国で広く活用されると思われれます。しかしながら、CTP 検査に用いる中耳洗浄液は、新規の検査検体であり、さまざまな偽陽性・偽陰性因子が存在する可能性があります。そのため検査精度の向上は、外リンパ瘻の正確な診断に必要不可欠です。そこで本研究では、下記の検体を用いて CTP 検出検査の精度を高めることを目的としています。

## 2. 研究の実施体制・組織

研究責任者：埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 教授 池園哲郎

## 3. 研究の方法

外リンパ瘻が疑われる患者さんや耳疾患の患者さんの「中耳洗浄液」など回収します。通常の診療に必要な検査を行った後、残った検体を本研究に使用します。

## 4. 個人情報保護の方法

被験者の氏名、ID など個人情報の代わりにサンプルごとに個人を識別できないようにした状態で試料を送付するなどして、研究データを管理します。

## 5. インフォームドコンセント

研究責任医師及び分担医師は、当該研究への参加を予定している被験者に対して、説明文書を用いて十分に説明し、研究の参加について十分に理解したのち、自由な意思により、文書にて同意を得ます。

## 6. 研究に関する被験者からの相談等の対応

<連絡・問い合わせ先>

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 耳鼻咽喉科医局 池園哲郎

電話 049-276-1296